

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名：グループホーム明日葉

作成日：平成25年1月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画とモニタリングにおける実施の在り方(日頃より追加及び削除の記録が見られず、計画への見直しが弱い)	モニタリングの実施及び、状態の変化に応じて追加及び削除の記録を確実に行う。	・モニタリングには利用者・家族を含めて行う。実施は事前に家族に連絡して、家族の都合に合わせて行う。ケアプランをケース記録に挟み、身体及び精神面の変化に伴い、追加や削除を記入する。ケアプランに見直しが必要な場合はカンファレンスを開き、プラン変更を行う。また、変化に伴う事については周知徹底を図り、支援に繋げる。	12ヶ月
2	33	利用者の重度化に伴い、終末期に向けた方針の共有と支援(利用者及び家族と事業側との方針の共有)	終末期の受け入れに対するスタッフの配置及び医療機関との連携を図る。	・現在、終末期の利用者はいないが訪問看護ステーションまたは、医療機関との契約等にて、終末期の看取りが出来る体制を作る。また、健康管理及びターミナルケアについて、スタッフの知識及び意識を高揚する。終末期の対応については、事前に家族との話し合いを持ち、意思の確認を行う。	12ヶ月
3	40	食事のバランスを考えて、健康管理に努める。	季節の野菜を多く取り入れたり、歳時記の食に関するメニューを提供する。	・季節に応じた食材を多く取り入れた献立を作成。施設母体の栄養士のカロリー計算を定期的実施し、利用者の健康管理に繋げる。また、歳時記に沿ったメニューを取り入れることにより、食事を楽しんで頂く。食事を検食したスタッフは利用者の立場に立った意見を記入。それを基に、献立内容を工夫していく。	12ヶ月
4					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。